

2026年度 研究助成募集要項

1. 募集対象：

指定大学14校(※1)と推薦大学(※2)のエネルギー関係の研究部門の研究者を対象とし、挑戦する若手研究者の育成に重点を置いた研究助成を行います。若手研究者には博士課程修了後の研究者から准教授までを含めますが、既に教授になられた方は対象外としております。

また、当財団では科学技術の更なる発展の為には女性研究者の育成・支援が極めて重要と考えており、女性研究者の応募を歓迎しています。

応募にあたっては部門長の推薦を必要としますのでご注意ください。

なお、過去に受賞された方の応募は受けませんが、その場合には 今回応募の研究のテーマや内容について、過去の受賞研究からの進化・変化についての要旨の明記を求めます。また、より多くの研究者を支援する為、過去に受賞された方の再応募については 厳しく評価する場合があります。

指定大学、推薦大学ともに 1校当たりの応募件数には制限はありません。

(※1) 北海道大学、東北大学、東京大学、東京科学大学、横浜国立大学、慶應義塾大学、早稲田大学、名古屋大学、金沢大学、京都大学、大阪大学、神戸大学、広島大学、九州大学 <指定大学14校>

(※2) 当財団の選考委員、役員、及び評議員の推薦により、毎年 10～15 校前後を決定し、各校に通知(後日財団HPに公表)

2. 助成対象となる研究分野：

下記の研究課題で、現に研究開発を行っているか、または具体的に研究着手の段階にあり、近い将来に研究の成果が期待できるものを対象とし、独創的・創造的又萌芽的研究を歓迎します。

基幹技術・先端(先進)技術を問わず以下の研究開発テーマ

(1) エネルギーに関連する次の分野

- ① エネルギー製造・輸送・貯蔵等に関する研究開発
- ② エネルギー利用効率化に関する研究開発
- ③ 代替エネルギーに関する研究開発
- ④ 環境保全や安全向上のための研究開発
- ⑤ エネルギー効率向上等に資する工業材料に関する研究開発

(2) 炭化水素有効利用に関連する次の分野(但し、医薬品関連を除く)

- ① 炭化水素誘導体及びその製造法に関わる研究開発
- ② 炭化水素をベースとする新素材の研究開発

注) 当財団は旧ゼネラル石油株式会社からの寄付により設立されたものですが、支援対象とする研究には石油精製や石油化学のような規模やこれらの産業に資することを必ずしも求めておりません。支援対象とする研究は学術的な成果が期待できるものや、その時代の要請に応えるような

技術開発研究等であり、脱炭素・低炭素を支える研究なども含めた萌芽的研究を積極的に支援しています。

研究テーマの該当性については柔軟性をもって判断しています。過去に助成を受けた研究テーマを年度毎に纏めてHP上に掲載していますので、そちらも参考にして下さい。

3. 秘密情報の取扱い:

- (1) 応募の際に提出された個人情報、技術・研究情報は、選考手続きのみに使用します。
- (2) 助成決定後には、
 - ①氏名、所属機関名、職位、②研究課題名、内容、③助成金額、④研究成果報告、⑤財団主催の行事等で撮影された写真をHP上に掲載する以外には公開せず、またこれらの資料も財団の文書管理規程に則り厳重に管理し、所定の保存期間後には速やかに破棄します。
- (3) 選考委員、事務局を含む全ての財団関係者は提出された情報について守秘義務を負っております。

4. 研究助成金及び助成件数: (若干の増減の可能性あります)

2026年度の研究助成金総額は3,300万円、助成件数は20~24件、1件当たりの研究助成金は原則120万円、特に優れた案件については150万円~200万円への増額を予定しています。

5. 応募書式と応募方法:

財団のホームページに推薦書(申請書)を掲載しておりますので、応募者にはこれをダウンロードし必要事項を記入のうえ(*), 夫々の大学が定める関連学部長または大学院研究機関長の記名押印を受けたものをPDFファイルにて財団事務局宛に電送頂きます。

(*):HP上の推薦書はWORDで作成されたものですが、記入項目が維持され、書式・体裁が概ね維持出来るものであれば、他のソフトウェアで作成したものをPDF化頂いても結構です。

6. 募集締切り:

2026年9月11日(金)を締切りとし、上記「推薦書(申請書)」を事務局宛てに送付頂きます。

7. 選考方法と決定:

当財団の選考委員(選考委員リストを添付資料に掲載)により同委員会運営規則の定めに従い選考の上、選考委員会にて推薦し、理事会にて決定します。応募件数が多い場合は1次選考、2次選考を行います。

また、特定の大学への助成が集中することを避けるため、選考過程では1校当りの助成件数を制限することもあります。

8. 選考結果の通知:

2026年12月中旬に選考結果を応募者および推薦者宛て文書により通知する予定です。

9. 研究助成金贈呈式と助成金の振り込み:

2027年2月下旬(予定)に東京において贈呈式を開催し目録を進呈、助成金は3月中旬に受賞者の所属大学あるいは研究機関等が指定した銀行口座へ振り込む予定です。

10. 成果報告:

- 1) 助成金受領者には、受領1年後の2028年3月末までの研究成果を、2028年8月末までに財団に報告頂きます。
- 2) 上記の研究成果報告は、当財団のホームページにて公開いたしますので、応募時に予めご了承頂きます。

11. 研究助成金の使用:

- 1) 助成金の使途に制約はありませんが、上記「10.成果報告」と併せて助成金の使用実績を報告頂きます。
- 2) 助成金は必ずしも2027年度末(2028年3月末)までに使い終える必要はなく、全額あるいは一部を2028年度以降に繰り越して使用することが可能です。その場合、成果報告と併せて未使用分の使途計画概略を提出頂ければ結構です。

12. 推薦書類送付先・連絡先^(注):

〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町2-6-1(日経茅場町別館)

公益財団法人 ENEOS東燃ゼネラル研究奨励・奨学会 事務局長 西村 佳司

電話/FAX: 03-6661-9761 携帯: 090-8620-9290

メールアドレス gsk.zaidan@marble.ocn.ne.jp

(注) 推薦書類等を受領した場合、事務局から受領確認の電子メールを送付する予定です。
受領確認の電子メールがない場合は、上記事務局に連絡願います。

なお、詳細は財団HPにてご確認をお願い致します。

URL <https://eneos-tonengeneral-zaidan.or.jp>

以上

【添付資料 ー 研究助成選考委員リスト】

(委員長)

越 光男 東京大学 名誉教授

(副委員長)

今津 秀則 元ゼネラル石油(株)中央研究所 石油製品部長

(委員)

藤田 修 北海道大学大学院 教授

岡崎 健 東京科学大学 名誉教授

岡崎 慎司 横浜国立大学大学院 教授

西出 宏之 早稲田大学 名誉教授

松村 秀一 慶應義塾大学 名誉教授

河本 邦仁 名古屋大学 名誉教授

藤原 哲晶 京都大学外学院 教授

鳶巢 守 大阪大学大学院 教授

森 昌司 九州大学大学院 教授

松本 隆也 ENEOS(株)中央技術研究所 首席研究員

朝野 剛 ENEOS(株)中央技術研究所 デジタル研究所

2026年3月末 現在